

プレスリリース

2026年2月27日
国境なき医師団 (MSF)

国境なき医師団はパレスチナでの援助活動を継続——退去期限が迫る中、援助ニーズは甚大

イスラエル当局はパレスチナで活動する 37 の NGO に対し、3 月 1 日までに現地から退去するよう通告している。これに対し国境なき医師団 (MSF) は、現地に残り援助を提供し続ける方針を表明する。

援助の大規模な拡大が不可欠

ガザ地区ではイスラエル当局による暴力と援助制限が続き、人命が奪われ続けている。MSF はガザにおける人道援助の大規模拡大と、それらを妨げなく行う必要性を主張、パレスチナ自治政府の登録のもと、可能な限りパレスチナでの援助活動を継続する方針だ。

国際人道法において、占領国であるイスラエルは人道援助の提供を確実なものにする責任がある。しかし、2026 年 3 月 1 日までに 37 の NGO にパレスチナからの退去を求めるという新たな規制により、すでに不十分な援助がさらに激減する恐れがある。各国政府は、人道援助の促進など国際司法裁判所の決定が確実に尊重されるよう努める必要がある。

MSF インターナショナル事務局長のクリストファー・ロックイヤーはこう話す。

「ますます制約が厳しくなる中で、MSF は医療援助を続けるために活動しています。援助のニーズは膨大で、活動が大幅に制限されることは致命的な結果をもたらします。何十万人もの人が医療面と精神面での援助を必要としており、長期的なケアも求められています」

国際スタッフの退去が余儀なくされる

米国主導の和平計画にもかかわらず、イスラエル当局は水や避難所、医療援助を厳しく制限したり止めたりしている。生活環境は依然として劣悪で、パレスチナ人の殺りくが日常的に続いている。この数週間、ガザに届く人道援助は著しく減少した。ヨルダン川西岸地区では、暴力、強制移住、武装入植者からの攻撃、家屋破壊、入植地の拡大、医療への妨害が増加するなか、医療と人道援助のニーズは高まり続けている。

イスラエル当局による MSF の登録解除は、この 2 年の間に機材や物資の制限を受け続けた医療体制の負担をさらに増大させ、すでに患者のケアに影響を及ぼしている。MSF は国際スタッフや新たな物資をパレスチナに入れることを 1 月初めからイスラエル当局により妨げられており、MSF の全ての国際スタッフは 3 月 1 日までにパレスチナからの退去を余儀なくされている。

MSF の医療援助はすでに困難に直面しており、緊急外科治療やリハビリ、小児医療、リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）、慢性疾患や精神疾患などのケアを提供し続けることができるか、特に懸念される。長期的には MSF の活動は不確実であり、このような制限された条件下では活動を維持できない可能性がある。

替えのきかない MSF の医療援助

ロックイヤーはこう訴える。「MSF の活動は重要なライフラインです。この規模の医療・人道援助は、簡単に替えがきくものではありません。人道的な大惨事が続くなか、MSF は可能な限り長くパレスチナにとどまり、できる限りのことを行います。私たちはイスラエル当局に対し大規模な人道援助を行えるよう求めるとともに、国際社会に対し、ガザ地区とヨルダン川西岸地区のパレスチナ人が運命に見放されないようにすることを求めます」

MSF は 1988 年からパレスチナで医療と心のケアを提供し、現在は水と衛生 に関する大規模な援助も提供している。2025 年、MSF はガザの病床の 5 分の 1 を支え、分娩の 3 件に 1 件を介助、91 万 3284 件の外来診療を行い、7 億リットル超の給水活動を行った。2026 年 1 月には、8 万 3579 件の外来診療を行い、4 万 646 件の緊急症例を治療し、5981 人の外傷関連患者を治療した。圧倒的なニーズに応えるため、MSF は 2026 年に 1 億 3000 万ユーロ（約 240 億円）の予算で活動の拡大を計画していた。その援助は今、不確実な状況に置かれている。

NGO の活動を制限する新登録要件は、援助を妨害するための口実として用いられており、イスラエル政府がネット上で進めている MSF への中傷キャンペーンと時を同じくして行われている。

ロックイヤーはこう話す。「根拠や裏付けのない主張に基づいて MSF の活動の正当性を失わせる取り組みは、MSF の信用を失墜させ、声を封じ込め、医療援助を妨害することを目的としています。国際ジャーナリストが立ち入りを禁じられ、パレスチナ人ジャーナリストが次々と殺害されている状況において、NGO のアクセスをこれ以上減らすことは、今も続く暴力とそれが人びとに与えている影響の目撃者をさらに減らすことになるのです」

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、高橋哲子
携帯：090-5401-5176
E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>
メディア向け X（旧ツイッター）アカウント：@MSFJ_Press